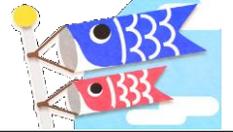


街路樹

「所長挨拶」

5月



総合教育センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月からほとんどの研修を中止としております。中止としました研修については、できる限り資料を配付いたしますので、各学校で活用していただければと思います。今後の研修についてですが、学校の一斉再開に合わせ、6月より、一部研修を除き、従来の計画通り実施する予定です。多くの先生方の参加をお待ちしています。

また、このような状況の中、各学校においては、学習や感染などの不安が大きく、心のケアが必要な児童生徒がいるかもしれません。学級担任、養護教諭等を中心に対応して下さっていると思いますが、センターでも随時、教育相談を実施しておりますので、ご活用ください。また、必要に応じてスクールカウンセラー等も派遣いたしますので、支援室にご相談ください。

最後になりますが、支援室では、今年度から特別支援学級等新任担当教員に対し、サポート訪問を実施しております。学級経営や授業における悩み等に対して指導主事を派遣いたしますので、積極的に活用してください。

今年度も総合教育センター職員一同、先生方のニーズに応え、いわきの子どもたちが健やかに成長できるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



「今年度の研修調査室の目玉」

研修調査室では、昨年度に研修内容の大幅な見直しを行いました。見直しの際の視点は次の4点です。

- ①「働き方改革」と「研修の質の向上」
- ②初任者研修の研修内容の精選と重点化
- ③校長・教員の資質向上に関する指標に基づくライフステージに沿った研修体系の見直し
- ④新学習指導要領完全実施に対応する研修の充実
 - ・外国語活動の教科化に伴った研修
 - ・プログラミング教育の実施に向けた研修



具体的には、初任者研修において、校内研修の時間を15時間削減し、校外研修の日数を5月の宿泊研修(磐梯青少年交流の家)を含め7日間削減しました。また、新規採用養護教諭及び栄養職員研修についても、5月の宿泊研修を削減しました。

初任者研修の削減に対して、研修の質を担保するため、研修者自身が選択する研究発表集会等研修の日数を増やすとともに、新たに連携校研修を加えました。この連携校研修は、近隣の学校に出向いて研修するもので、身近にいる指導力に優れた先輩教員から学ぶ研修です。

その他の研修では、3年次研修の削除、経験者研修Ⅰ・Ⅱの日数等の削減と研修内容の精選、ミドルリーダー研修の教育課題研修への特化(学校組織マネジメント研修、カリキュラム・マネジメント研修の必修化)など、研修体系全体の見直しを行いました。

今年度は新たな研修体系でのスタートとなりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修の中止や変更等を余儀なくされています。研修が十分に実施できない状況ではありますが、研修のさらなる効率化、重点化の機会と捉え、研修の質のさらなる向上に努めていきたいと思っております。

「学び続ける教員集団」の実現に向け、今後とも研修の工夫・改善に取り組み、研修に参加される先生方にとって有意義な時間となるよう努めて参ります。

「教育支援室の活用に向けて」

4年目を迎えた教育支援室では、今年度も、教育相談業務、不登校対策業務、家庭支援業務、特別支援教育関係業務に取り組んで参ります。

その中でも特に、今年度の重点としている業務内容について3つ紹介します。

1つ目は、心理検査を活かした児童生徒支援の充実です。これまでは、検査結果を学校支援に活かしてきれていなかったとの反省から、検査結果をもとにした「個別的教育支援計画・指導計画」の作成や見直しを学校とともにを行い、支援に活かすシステムを整えていきたいと考えています。

2つ目は、今年度から初めて特別支援学級を担当された先生方、通級指導教室を担当された先生方(以後 新任担当教員)への支援の充実です。具体的には、早期から新任担当教員同士の横のつながりを築くこと、教育支援室に相談しやすい体制を作ることも視野に、

・新任担当教員研修会(年3回)を本市主催で完全実施 ※緊急事態宣言により第1回研修会は中止

・教育支援室指導主事による学校訪問支援

(新任担当教員サポート訪問)

を計画しました。サポート訪問は通年で利用可能です。該当校はぜひご活用ください。なお、該当校以外も通常の教育支援室活用申請で同等の訪問支援が可能ですのでご相談ください。

3つ目は、新型コロナウイルスに対する緊急時対応です。発症等への恐怖に加え、それに起因する差別や偏見、パニックを生み出す可能性を考慮し、児童生徒の心の状態調査や予防教育の実施などに取り組んでいきます。

様々な課題に対応できる教育支援室を目指してまいりますので、まずはご相談ください。